

## 2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月12日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社リソ-教育  
コード番号 4714 URL <https://www.riso-kyoikugroup.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 天坊 真彦  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長(CFO) (氏名) 久米 正明 TEL 03-5996-3701  
四半期報告書提出予定日 2024年7月16日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年2月期第1四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年5月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	6,901	3.1	△190	—	△197	—	△208	—
2024年2月期第1四半期	6,692	3.9	△364	—	△357	—	△273	—

（注）包括利益 2025年2月期第1四半期 △237百万円（－％） 2024年2月期第1四半期 △255百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	△1.34	—
2024年2月期第1四半期	△1.77	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	19,801	10,103	50.6
2024年2月期	18,096	8,484	46.3

（参考）自己資本 2025年2月期第1四半期 10,028百万円 2024年2月期 8,375百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	0.00	0.00	0.00	10.00	10.00
2025年2月期	0.00				
2025年2月期（予想）		0.00	0.00	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,960	5.4	2,670	1.6	2,670	0.5	1,710	2.9	10.28

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2024年5月28日付で第三者割当による新株式発行を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」は、当該新株式発行の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期1Q	171,806,159株	2024年2月期	156,209,829株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	1,722,510株	2024年2月期	1,846,230株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期1Q	155,043,002株	2024年2月期1Q	154,363,969株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項については（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、深刻化する人手不足を背景に賃金の伸びが拡大するなど雇用・所得環境が改善する一方、円安の進行などによる物価高の影響により実質賃金は減少するなど、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な事業にあたる学習塾業界におきましても、こうした経済状況や少子化、教育制度改革や大学入試改革、GIGAスクール構想による学校へのICT導入の前倒しなども相まって、取り巻く環境が変化しておりますが、日本の教育投資意識は高まっており、コロナ禍で一時停滞した学習塾市場も拡大が見込まれています。

こうした環境のもと、少子化を前提としたビジネスモデルである当社グループは、「すべては子どもたちの未来のために」という考え方から、高品質な「本物」の教育サービスを提供し、徹底した差別化戦略によって日本を代表するオンリーワン企業を目指すことを経営の基本方針としております。

また、ヒューリック株式会社のグループ会社になったことでさらに連携が強化されたことに加え、当社、ヒューリック株式会社およびコナミスポーツ株式会社との3社提携による事業拡充や、株式会社伸芽会とコナミスポーツ株式会社との業務提携による「多彩で豊かな人間性をもった文武両道のバランスのとれた子どもを育む」事業の発展など、異業種を含めた他社との提携を推し進めることで、今後も引き続き、高付加価値サービスを提供するとともに、持続的成長と企業価値向上に努めてまいります。

以上の結果、売上高は6,901百万円（前年同期比3.1%増）、営業損失は190百万円（前年同期は営業損失364百万円）、経常損失は197百万円（前年同期は経常損失357百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は208百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失273百万円）となりました。

当社グループの経営成績は、受験後の卒業等により生徒数が変動することから、新学期スタート時期である第1四半期連結会計期間を底とし、講習会授業を実施する第2・第4四半期連結会計期間に大きく膨らむ季節的な変動要因があるため、第2・第4四半期連結会計期間と比較して、第1・第3四半期連結会計期間の収益性が低くなる傾向にあります。

セグメント別の経営成績は、次のとおりとなります。

#### ①TOMAS（トーマス）[学習塾事業部門]

完全1対1の進学個別指導による高品質な教育サービスを提供し、売上高は3,416百万円（前年同期比2.7%増）、内部売上を含むと3,448百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間におきましては、TOMAS最難関大学受験部渋谷校（東京都）、メディックTOMAS渋谷校（東京都）を新規開校、TOMAS南浦和校（埼玉県）を移転リニューアルいたしました。

#### ②名門会 [家庭教師派遣教育事業部門]

100%プロ社会人講師による教育指導サービスの提供に加え、全国区へ事業展開を図っており、売上高は1,008百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

#### ③伸芽会 [幼児教育事業部門]

名門幼稚園・名門小学校受験業界でトップクラスの合格実績を誇る既存事業「伸芽会」に加え、受験対応型の長時間英才託児事業「伸芽'Sクラブ（しなが〜ずくらぶ）」の2つのブランドの充実を図り、売上高は1,305百万円（前年同期比0.1%増）、内部売上を含むと1,315百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間におきましては、コナミスポーツ伸芽'Sアカデミー武蔵小杉校（神奈川県）を新規開校、伸芽'Sクラブ学童吉祥寺校（東京都）をリニューアルいたしました。

#### ④スクールTOMAS [学校内個別指導事業部門]

学校内個別指導塾「スクールTOMAS」の営業展開を推し進め、売上高は767百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

#### ⑤プラスワン教育 [人格情操合宿教育事業部門]

情操分野を育む多彩な体験学習サービスの提供を行い、売上高は399百万円（前年同期比5.2%増）、内部売上を含むと402百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

⑥その他の事業

売上高は4百万円（前年同期比13.3%増）、内部売上を含むと35百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、その他の流動資産（前払費用）、有形固定資産、繰延税金資産、敷金及び保証金の増加、営業未収入金、投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末と比較して1,705百万円増加し、19,801百万円となりました。

負債は、未払金、契約負債、賞与引当金、その他の流動負債（預り金）、退職給付に係る負債の増加、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比較して86百万円増加し、9,698百万円となりました。

純資産は、資本金、資本剰余金の増加、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比較して1,618百万円増加し、10,103百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移していることから、現時点において2024年4月8日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,460,988	8,732,230
営業未収入金	2,784,920	897,561
棚卸資産	171,828	227,713
その他	542,739	642,006
貸倒引当金	△5,502	△5,751
流動資産合計	8,954,974	10,493,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,950,105	4,113,867
減価償却累計額	△1,876,983	△1,933,210
建物及び構築物 (純額)	2,073,122	2,180,657
工具、器具及び備品	2,321,998	2,355,597
減価償却累計額	△977,509	△1,003,937
工具、器具及び備品 (純額)	1,344,489	1,351,659
土地	417,963	417,963
建設仮勘定	3,495	3,495
その他	23,541	23,541
減価償却累計額	△7,587	△8,570
その他 (純額)	15,953	14,970
有形固定資産合計	3,855,023	3,968,746
無形固定資産		
その他	310,555	324,539
無形固定資産合計	310,555	324,539
投資その他の資産		
投資有価証券	200,019	44,000
繰延税金資産	1,502,592	1,620,751
敷金及び保証金	2,974,002	3,048,640
その他	305,576	307,315
貸倒引当金	△6,072	△6,072
投資その他の資産合計	4,976,118	5,014,634
固定資産合計	9,141,697	9,307,920
資産合計	18,096,672	19,801,679

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	1,196,199	1,336,765
未払法人税等	707,892	105,027
契約負債	2,410,503	2,644,216
賞与引当金	354,064	480,926
資産除去債務	36,830	41,931
その他	1,025,788	1,132,650
流動負債合計	5,731,279	5,741,516
固定負債		
退職給付に係る負債	2,600,717	2,671,212
資産除去債務	1,276,985	1,283,707
繰延税金負債	2,933	1,818
固定負債合計	3,880,637	3,956,738
負債合計	9,611,916	9,698,255
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,890,415	4,590,415
資本剰余金	2,622,691	4,331,411
利益剰余金	3,331,151	1,579,395
自己株式	△381,348	△355,742
株主資本合計	8,462,910	10,145,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,934	△7,562
退職給付に係る調整累計額	△115,436	△109,613
その他の包括利益累計額合計	△87,502	△117,176
新株予約権	109,347	75,118
純資産合計	8,484,755	10,103,423
負債純資産合計	18,096,672	19,801,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	6,692,249	6,901,554
売上原価	5,483,865	5,560,006
売上総利益	1,208,384	1,341,548
販売費及び一般管理費	1,572,432	1,531,815
営業損失(△)	△364,048	△190,267
営業外収益		
受取配当金	2,296	2,818
未払配当金除斥益	2,545	3,354
助成金収入	461	1,224
写真販売収入	1,331	1,202
その他	794	1,414
営業外収益合計	7,428	10,014
営業外費用		
支払利息	551	69
株式交付費	—	16,017
為替差損	13	—
その他	286	1,422
営業外費用合計	852	17,509
経常損失(△)	△357,472	△197,762
特別利益		
固定資産売却益	—	55
親会社株式売却益	—	44,409
特別利益合計	—	44,465
特別損失		
固定資産除却損	2,735	204
減損損失	—	3,458
移転費用等	296	488
公開買付関連費用	—	95,120
その他	711	—
特別損失合計	3,743	99,272
税金等調整前四半期純損失(△)	△361,215	△252,569
法人税等	△87,861	△44,450
四半期純損失(△)	△273,353	△208,119
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△273,353	△208,119



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純損失(△)	△273,353	△208,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,242	△35,496
為替換算調整勘定	92	—
退職給付に係る調整額	11,596	5,822
その他の包括利益合計	17,931	△29,673
四半期包括利益	△255,422	△237,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△255,422	△237,793
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月8日開催の取締役会において、ヒューリック株式会社を割当先として、第三者割当の方法による新株式の発行を行うことについて決議し、2024年5月28日付で払込みが完了しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,699,999千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が4,590,415千円、資本剰余金が2,522,859千円となっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	家庭教師 派遣教育事業	幼児教育 事業	学校内個別 指導事業	人格情操合 宿教育事業	計				
売上高										
一時点で移転 される財又は サービス	12	—	65,924	—	83	66,021	4,297	70,318	—	70,318
一定の期間に わたり移転さ れる財又はサ ービス	3,328,311	1,043,937	1,238,025	632,248	379,408	6,621,931	—	6,621,931	—	6,621,931
顧客との契約 から生じる収 益	3,328,323	1,043,937	1,303,949	632,248	379,492	6,687,952	4,297	6,692,249	—	6,692,249
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	3,328,323	1,043,937	1,303,949	632,248	379,492	6,687,952	4,297	6,692,249	—	6,692,249
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9	—	1,206	—	3,000	4,216	30,682	34,898	△34,898	—
計	3,328,333	1,043,937	1,305,156	632,248	382,492	6,692,168	34,979	6,727,148	△34,898	6,692,249
セグメント利 益又は損失 (△)	△452,563	△8,882	33,193	△4,382	△4,556	△437,192	6,336	△430,855	66,807	△364,048

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	家庭教師 派遣教育事業	幼児教育 事業	学校内個別 指導事業	人格情操合 宿教育事業	計				
売上高										
一時点で移転 される財又は サービス	128	—	59,377	—	55	59,560	4,869	64,430	—	64,430
一定の期間に わたり移転さ れる財又はサ ービス	3,416,616	1,008,124	1,246,156	767,230	398,996	6,837,124	—	6,837,124	—	6,837,124
顧客との契約 から生じる収 益	3,416,744	1,008,124	1,305,533	767,230	399,052	6,896,684	4,869	6,901,554	—	6,901,554
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	3,416,744	1,008,124	1,305,533	767,230	399,052	6,896,684	4,869	6,901,554	—	6,901,554
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	31,764	—	9,709	—	3,000	44,473	30,456	74,929	△74,929	—
計	3,448,508	1,008,124	1,315,242	767,230	402,052	6,941,157	35,326	6,976,484	△74,929	6,901,554
セグメント利 益又は損失 (△)	△385,855	△50,777	53,356	70,890	5,028	△307,359	3,590	△303,768	113,500	△190,267

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。